·要旨

表面気孔の多い高密度炭の製造

森田桂司

要旨

現在、炭の中の一つであるオガ炭は備長炭の代替として、焼肉屋・焼き鳥屋などでも 重宝され多く使用されている。しかし、現在多く使用されているオガ炭は高密度炭なので 火付きが悪いため着火剤を塗って使用している。

本研究は、オガ炭の表面を酸化処理し、表面気孔を増加させることで、オガ炭を火付きの良いものにすることが目的である。実験方法として、 試料となるオガ炭を任意の大きさに加工する。 電気炉を用いて表面酸化処理を行う。 電気炉から出した試料の重量変化を量る。 SEM(電子顕微鏡)により、試料の表面・中心の写真をとる。 BET法により、試料の表面・中心の比表面積値を測る。 火付け実験により、火が付くまでの時間を計る。今回の実験結果として、500 での酸化処理が最も目的に適していることがわかった。

キーワード

オガ炭 高密度 火付き 表面気孔

· Abstract

Production of high density charcoal with large pore on the surface

MORITA, Keiji

Although ogatann which is one in charcoal can be used for a long time, and a shop selling yakitori is also found useful and it is often used now, since the present ogatann is high-density charcoal, it is bad, therefore the ignition agent is applied and used with fire. It is good with fire in ogatann, and this research aims at manufacturing the thing in which prolonged use is possible, while carrying out oxidization processing of the surface of ogatann and making it high-density charcoal with many surface stomata.

Key words

Ogatann high-density charcoal burn well pore on the surface